



上 極楽寺所蔵の「木造薬師如来坐像」
左 満正寺所蔵の「木造地藏菩薩立像」 Ⅱ いずれも
倉吉市内で、市教委提供

市有形文化財に2仏像指定 倉吉市

倉吉市は2日、極楽寺
(同市八屋、川崎重信住
職)所蔵の「木造薬師如
来坐像」と、満正寺(同

市鍛冶町1丁目、岩田英
俊(住職)所蔵の「木造地
蔵菩薩立像」を市の有形
文化財に指定すると発表
した。市指定文化財はこ
れで14件となり、うち5
件が有形文化財。

薬師如来坐像は、ヒノ

キの寄せ木造りの高さ91
・1センチ。衣をまとい、あ
ぐらをかいている。両脇
に配置されている具指定
保護文化財の日光、月光
両菩薩立像とほぼ同時期
の平安時代後期の作で中

心仏と推定される。00年
の修理の際、江戸期の1
703年(元禄16年)に修
理されていることが判明
し、指定が遅れていた。
地藏菩薩立像も材はヒ
ノキだが、構造は一木造
り。高さ97・8センチ。制作
年代は平安時代中期とみ
られる。元は大山寺に祭
られ、後に倉吉の安楽寺
(廃寺)に移されて、さ
らに満正寺の地藏堂の本
尊として安置されたこと伝
えられる。00年の鳥取県
西部地震で腐食していた
脚部が折れ、01年に修理
された。